

ひろしま Global Bridge

ハザードマップ・ゴミ分別表の多言語版で、外国人の生活を支え、共に歩む未来を創る

坂田郁穂・西嶋海夏・松廣理沙・浅井仁子・後藤涼太・安部直人・大矢美羽・水野学心・宇野友勝・上重茉央

多言語版のハザードマップとゴミ分別表を作成・配布することで、
広島県廿日市市在住の外国人が快適に生活できる場所を作ることを目指しました！

6月
キックオフミーティング
(連携先：廿日市市国際交流協会)



キックオフ
ミーティング

- 7月
- ・修大留学生ヘインタビュー
 - ・JICA・JOCA専門家から
アドバイスを拝受
 - ・外国人のニーズ調査



7～9月
運動会・料理教室など
様々なイベントを立案
するも、どれも挫折。

- 9～10月
- ・日本語教室(3教室)でのヒアリング
 - ・オンライン会議(WITH 廿日市市国際交流協会)

この会議で、
活動内容を最終決定

- 11月
ハザードマップ・ゴミ分別表作成開始
- ・ハザードマップ:テンプレート作成、多言語化
(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語)
 - ・ゴミ分別表:既存の多言語版に関する最新情報収集

各言語は、修道大学の
ネイティブ教員による
チェック済み

- 12月
- ・ハザードマップ:オンライン会議(WITH 廿日市市総務
部危機管理課)、翻訳のネイティブチェック

- 1月
- ・ハザードマップ:最終調整、廿日市市国際交流協会
に最終報告
 - ・ゴミ分別表:循環型社会推進課へ訪問(印刷・配布の
許可取得)



廿日市市国際交流協会
へのハザードマップ
完成報告

2月
ハザードマップ・ゴミ分別表:印刷・配布予定

活動の成果・学び

廿日市市に住む外国人の方のために、多言語版のハザードマップとゴミ分別表を作成・入手し、廿日市市国際交流協会ほか市内7か所の施設に設置する予定である。活動の企画段階では、外国人に生活におけるニーズの聞き取りを行い、出てきた多くのニーズの中から、一過性の活動にならないもので、かつ私たちに出来ることをグループ内で何度も検討した。この作業をとおして、ニーズに応えるためのさまざまな方法と、活動をすることで地域におよぼす中長期的な影響などを考える力を得ることができた。



▲日本語教室での
ニーズ調査
(3教室に計5回訪問)



廿日市市国際交流協会
へのハザードマップ
完成報告